

## [資料] 「企画業務型裁量労働制に関するアンケート調査」単純集計結果

その他のタイトル	[Material] A result of a questionnaire survey on Kikaku-gyomu-gata discretionary work system
著者	森田 雅也
雑誌名	関西大学社会学部紀要
巻	32
号	1
ページ	205-215
発行年	2000-09-25
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10112/00022376">http://hdl.handle.net/10112/00022376</a>

## 資 料

### 「企画業務型裁量労働制に関するアンケート調査」単純集計結果\*

森 田 雅 也

## A result of a questionnaire survey on Kikaku-gyomu-gata discretionary work system

Masaya MORITA

#### Abstract

This is a survey result of "Questionnaire survey on kikaku-gyomu-gata discretionary work system" done by the author. The survey was sent by mail to 1,673 companies in March 2000 and the return rate is 14.9%. Since little data about Kikaku-gyomu-gata discretionary work system have been published, the author hopes that the survey results will add to the body of knowledge concerning the kikaku-gyomu-gata discretionary work system.

Keyword: Kikaku-gyomu-gata discretionary work system

#### 抄 録

本稿では、「企画業務型裁量労働制に関するアンケート調査」の単純集計結果が示されている。企画業務型裁量労働制に関する数量的なデータがほとんど公表されていない現状を鑑み、2000年3月に1,673社を対象（有効回答率14.9%）に行われた調査について、単純集計結果のみではあるがここに公表する。

キーワード：企画業務型裁量労働制

---

\* 本研究は、文部省「科学研究費補助金（奨励研究A）」の経済的援助を受けている。記して、謝意を表するものである。

## 1 はじめに

本稿は、「企画業務型裁量労働制に関するアンケート調査」の単純集計結果である。1998年の労働基準法改正によって、2000年4月より企画業務型裁量労働制の導入が認められたが、現時点で、企画業務型裁量労働制に対する企業の取り組みに関する調査結果の報告がみられないことを鑑み、単純集計結果のみであるが資料の形で公表することにする。

## 2 調査の概要

調査は、2000年3月に、ダイヤモンド社のデータベースに基づき、従業員数100人以上企業の本社機構における人事部門を代表するマネジャー（人事部長、労務部長等）1,673名に質問票を郵送する形で行われた。有効回答数は249、有効回答率は14.9%である。

## 3 調査結果

ここでは、質問票の順序に従って調査の単純集計結果を示すこととする<sup>1)</sup>。

問1 貴事業場では企画業務型裁量労働制の導入について現時点でどのようにお考えですか。最もあてはまるものを1つ選び、番号に○印をお付け下さい。

N = 249

	度数	割合(%)
1. 2000年4月からの導入準備が完了している。→→→ 問3へお進み下さい。	1	0.4
2. 2000年4月からの導入に向けて準備を進めている。→→→ 問4へお進み下さい。	3	1.2
3. 2000年4月からの導入は見送ったが、導入準備を進めている。 →→問4へお進み下さい。	46	18.5
4. 導入を考えていない。→→ 問2へお進み下さい。	199	79.9

問2 問1で、「4.導入を考えていない」と回答された方にお伺いします。貴事業場で、企画業務型裁量労働制を導入しない理由は何ですか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をお付け下さい。

問2をお答えいただいた方は、次は、問9へお進み下さい。

1) ただし、より見やすい形とするために、レイアウトの形式は質問票とは若干異なるものとなっている。

「企画業務型裁量労働制に関するアンケート調査」単純集計結果（森田）

M.A., N = 199

	度数	割合(%)
1. 対象部署がなかったから。	37	18.6
2. 導入しても、組織にとってのメリットが少ないと思われるから。	75	37.7
3. 導入しても、労働者にとってのメリットが少ないと思われるから。	29	14.6
4. 同じような機能をもつ他の人事・労務管理制度があるから。	13	6.5
5. 労働組合（ない場合は、労働者）との調整がついていないから。	35	17.6
6. 導入のノウハウがないから。	31	15.6
7. まだ時期尚早と判断されるから。	110	55.3
8. 関心がないから。	6	3.0
9. その他	21	10.6

問3 問1で、「1. 導入準備が完了している」と回答された方にお伺いします<sup>2)</sup>。

問3-1 貴事業場で企画業務型裁量労働制の対象者として予定されている人数は何名ですか。数値を（ ）内にご記入下さい。（ 150 ）人

問3-2 対象者の平均勤続年数は何年ですか。数値を（ ）内にご記入下さい。（ 無回答 ）年

問3-3 対象者が、「非現業・非管理職」の総数に占める割合はどの程度ですか。数値を（ ）内にご記入下さい。（ 10 ）%

問4 貴事業場では、どのような目的で企画業務型裁量労働制の導入を進めていらっしゃいますか。アからクの各項目について、それぞれ1から5の中で最もあてはまるものを1つ選び、番号に○印をお付け下さい。

（1まったくちがう，2どちらかといえばちがう，3どちらともいえない，4どちらかといえばその通り，5まったくその通り）

N = 45

	平均値	標準偏差
ア. 労働時間を短縮するため	2.93	0.96
イ. 成果主義を徹底するため	4.44	0.76
ウ. 人件費総額を削減するため	2.91	1.22
エ. 生産性を高めるため	4.22	0.88
オ. 従業員の自律性を高めるため	4.29	0.73
カ. 従業員の創造性を高めるため	4.02	0.97
キ. 勤怠管理を合理化するため	2.76	1.28
ク. 企業イメージを高めるため	2.67	0.85

2) 問1の結果に示されたように、「2000年4月からの導入準備が完了している」と回答した企業は1社のみであったので、その回答を直接書き込む形とした。

問5 貴事業場では、企画業務型裁量労働制の導入にともない、他の人事制度や組織編成を変更されますか。次のうち1つを選び、番号に○印をお付け下さい。

N = 47

	度数	割合(%)
1. 変更する。→ 問5-2をお答え下さい。	27	57.5
2. 変更しない。→ 問6へお進み下さい。	20	42.6

問5-2 「1. 変更する」と回答された方にお伺いします。具体的にはどのように変更されますか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をお付け下さい。

M.A., N = 27

	度数	割合(%)
1. 月例給与を、成果に応じて差を拡大する。	10	37.0
2. 賞与を、成果に応じて差を拡大する。	23	85.2
3. フレックスタイムの導入（あるいは拡大）	5	18.5
4. 在宅勤務の導入（あるいは拡大）。	0	0.0
5. 考課者訓練の導入（あるいは充実）。	12	44.4
6. 評価制度の改定。	15	55.6
7. 目標管理制度の導入（あるいは充実）。	24	88.9
8. スtockオプションのような変動給の導入。	0	0.0
9. 全員一律の教育訓練の縮小（あるいは廃止）。	2	7.4
10. 組織の再編成。	4	14.8
11. その他	0	0.0

問6 企画業務型裁量労働制の導入には、事業場単位で労使委員会を設けることが必要ですが、この点についてお伺いします。

問6-1 事業場単位で設ける労使委員会に係わる諸手続及びその運用は煩雑であると思われるますか。次のうち1つを選び、番号に○印をお付け下さい。

N = 48

	度数	割合(%)
1. 煩雑である。	34	70.8
2. 煩雑ではない。	6	12.5
3. どちらともいえない。	8	16.7

「企画業務型裁量労働制に関するアンケート調査」単純集計結果（森田）

問6-2 企画業務型裁量労働制の運用に際して、事業場単位で設ける労使委員会は必要であると思われますか。次のうち1つを選び、番号に○印をお付け下さい。

N = 49

	度数	割合(%)
1. 必要である。	16	32.7
2. 必要ではない。	21	42.9
3. どちらともいえない。	12	24.5

問6-3 事業場単位で設ける労使委員会に代わり、同等の機能を発揮できると考えられるものは次の中にありますか。あてはまる番号すべてに○印をお付け下さい。

M.A., N=49

	度数	割合(%)
1. 労使協議制（全社レベルも含む）	38	77.6
2. 団体交渉（全社レベルも含む）	8	16.3
3. 苦情処理制度（全社レベルも含む）	15	30.6
4. 職場懇談会	10	20.4
5. 日常のコミュニケーション	11	22.4
6. 代わるものはない	1	0.2
7. その他	0	0.0

問7 対象者の健康及び福祉を確保する措置としてどのようなものを講じる予定ですか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をお付け下さい。

M.A., N = 49

	度数	割合(%)
1. 出退勤時刻や入退室時刻等による、対象者の勤務状況の把握。	22	44.9
2. 定期的な聞き取りによる、対象者の勤務状況の把握。	28	57.1
3. 対象者への特別な健康診断の実施。	6	12.2
4. 勤務状況や健康状況に応じた、代償休日や特別休暇の付与。	7	14.3
5. 年次有給休暇の連続取得を含めた取得促進。	16	32.7
6. 直属上司による、勤務状況や健康状況把握の義務づけ。	31	63.3
7. 心身の健康問題に関する相談窓口やネットを通じた相談経路の設置	27	55.1
8. 状況に応じた配置転換。	11	22.4
9. その他	0	0.0

問8 貴事業場において、全く職務経験がない大卒労働者が企画業務型裁量労働制の対象者として十分な能力をもつに至るには、平均して何年ほどの職務経験が必要と考えますか。最もあてはまる数値を（ ）内にご記入下さい。

N = 46

	平均値	最小値	最大値	標準偏差
大卒入社後（ ）年	4.35	2	10	1.72

N = 46

	度数	割合(%)
大卒入社後2年	3	6.5
大卒入社後3年	18	39.1
大卒入社後4年	1	2.2
大卒入社後5年	18	39.1
大卒入社後6年	1	2.2
大卒入社後7年	2	4.3
大卒入社後8年	2	4.3
大卒入社後10年	1	2.2

\*\*\* ここからの質問には、すべての方がお答え下さい \*\*\*

問9 貴社では、貴事業場以外の事業場で2000年4月以降に企画業務型裁量労働制の導入を予定されていますか。次のうち1つを選び、番号に○印をお付け下さい。

N = 248

	度数	割合(%)
1. 予定している。	20	8.1
2. 予定していない。	227	91.5
3. 事業場にまかせてあるので関知していない。	1	0.4

問10 貴社における、従来からある専門業務型裁量労働制についてお伺いします。

問10-1 専門業務型裁量労働制を導入しておられますか。次のうち1つを選び、番号に○印をお付け下さい。

N = 249

	度数	割合(%)
1. 導入している。→問10-2をお答え下さい。	17	6.8
2. 導入していない→問10-3へお進み下さい。	232	93.2

「企画業務型裁量労働制に関するアンケート調査」単純集計結果（森田）

問10-2 問10-1で「1. 導入している」と回答された方にお伺いします。

1. 専門業務型裁量労働制を導入されてからのどのくらいたちますか。（ ）にあてはまる数値をご記入下さい。

N = 14

平均値	標準偏差
3年8.3ヶ月（44.3ヶ月）	45.96

2. 専門業務型裁量労働制に関連するアからセの各項目について、それぞれ1から5の中で最もあてはまるものを1つ選び、番号に○印をお付け下さい。

（1まったくちがう，2どちらかといえばちがう，3どちらともいえない，4どちらかといえばその通り，5まったくその通り）

N = 15

	平均値	標準偏差
ア. 労働時間が短縮された。	2.87	0.74
イ. 成果主義が徹底された。	4.00	0.38
ウ. 人件費総額が削減された。	3.13	0.83
エ. 対象者の生産性が高まった。	3.80	0.86
オ. 導入部署の生産性が高まった。	3.80	0.68
カ. 対象者の創造性が高まった。	3.87	0.74
キ. 対象者の創造性が高まった。	3.67	0.62
ク. 勤怠管理が合理化された。	3.00	1.00
ケ. 企業イメージが高まった。	3.20	0.68
サ. 管理者の評価負担が増大した。	3.13	0.99
シ. 対象者が「時間管理」意識を払拭した。	3.40	1.18
ス. 管理者が「時間管理」意識を払拭した。	3.40	1.12
セ. 対象者の評価への納得性が高まった。	3.13	0.92
ソ. 専門業務型裁量労働制は，人事・労務管理制度として定着した。	3.80	0.77

- 問10-3 問10-1で、「2. 導入していない」と回答された方にお伺いします。専門業務型裁量労働制を導入しなかった理由は何ですか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をお付け下さい。



M.A., N=232

	度数	割合(%)
1. 対象部署がなかったから。	59	25.4
2. 導入しても、組織にとってのメリットが少ないと思われたから。	74	31.9
3. 導入しても、労働者にとってのメリットが少ないと思われたから。	30	12.9
4. 同じような機能をもつ他の人事・労務管理制度があったから。	11	4.7
5. 労働組合（ない場合は、労働者）との調整がなかったから。	34	14.7
6. 導入のノウハウがなかったから。	41	17.7
7. まだ時期尚早と判断したから。	114	49.1
8. 関心がなかったから。	9	3.9
9. その他	14	6.0

問11 貴社の今後の人事方針，経営方針についてお伺いします。アからサの各項目について、それぞれ1から5の中で最もあてはまるものを1つ選び、番号に○印をお付け下さい。

(1まったくちがう，2どちらかといえばちがう，3どちらともいえない，4どちらかといえばその通り，5まったくその通り)

N=230

	平均値	標準偏差
ア. 基本的に、雇用は守る。	4.27	0.71
イ. 昇進・昇格には、年齢や勤続年数を重視する。	2.23	0.89
ウ. 月例給与には、年齢や勤続年数を重視する。	2.53	0.93
エ. 賞与には、年齢や勤続年数を重視する。	2.12	0.89
オ. 福利厚生は簡素化する。	3.56	0.81
カ. 従業員の能力開発は、基本的に個人責任で行う。	3.19	0.82
キ. チームの成果よりも個人の成果を重視する。	2.77	0.65
ク. 正社員数を減らす。	3.50	0.92
ケ. パート等の数を増やす。	3.08	0.99
コ. 業務のアウトソーシングを進める。	3.53	0.87
サ. 情報化による業務の効率化を進める。	4.35	0.61

問12 「裁量労働的勤務」についてお伺いします。「裁量労働的勤務」を、「基本給＋一定額の手当」の月例給与と成果に応じた賞与、各人による労働時間管理」とします。「裁量労働的勤務」について、貴社の現状に最もあてはまるものを1つ選び、番号に○印をお付け下さい。

「企画業務型裁量労働制に関するアンケート調査」単純集計結果（森田）

N = 247

	度数	割合(%)
1. 導入は考えていない。	146	59.1
2. 既に導入している。	27	10.9
3. 導入予定である。	10	4.0
4. 導入を検討している。	52	21.1
5. その他	12	4.9

問13 貴事業場における情報化についてお伺いします。

問13-1 貴事業場で用いられている情報システムの段階はどのようなものでしょうか。

次の中から最もあてはまるものを1つ選び、番号に○印をお付け下さい。

N = 247

	度数	割合(%)
1. 情報システム化はほとんど進んでいない。	3	1.2
2. 業務が各職能領域毎に分散的に処理されている段階。	40	16.2
3. 業務が事業場全体のオンライン・ネットワークによって処理される段階。	41	16.6
4. 業務が他事業場も含めた全社のオンライン・ネットワークによって処理される段階。	158	64.0
5. その他	5	2.0

問13-2 パソコンの導入状況はどの程度でしょうか。数値を（ ）内にご記入下さい。

未導入の場合は、「0」とご記入下さい。

正規従業員（ 2.91 ）人に1台程度 （N = 234, 標準偏差4.15）

問14 貴社および貴事業場のプロフィールについてお伺いします。

問14-2 貴事業場の正規従業員数を次から1つ選び、番号に○印をお付け下さい。

N = 246

	度数	割合(%)
1. 100人未満	48	19.5
2. 100人以上300人未満	74	30.1
3. 300人以上500人未満	44	17.9
4. 500人以上1,000人未満	35	14.2
5. 1,000人以上	45	18.3

問14-2 貴社全体の正規従業員数を次から1つ選び、番号に○印をお付け下さい。

N = 248

	度数	割合(%)
1. 300人未満	40	16.1
2. 300人以上1,000人未満	85	34.3
3. 1,000人以上3,000人未満	66	26.6
4. 3,000人以上5,000人未満	29	11.7
5. 5,000人以上	28	11.3

問14-3 貴社の主な事業の産業分類を次から1つ選び、番号に○印をお付け下さい。

- |       |                   |                |         |
|-------|-------------------|----------------|---------|
| 1. 農業 | 5. 建設業            | 9. 卸売・小売業, 飲食店 | 13. その他 |
| 2. 林業 | 6. 製造業            | 10. 金融・保険業     |         |
| 3. 漁業 | 7. 電気・ガス・熱供給, 水道業 | 11. 不動産業       |         |
| 4. 鉱業 | 8. 運輸・通信業         | 12. サービス業      |         |

N = 248

	度数	割合(%)
4. 鉱業	1	0.4
5. 建設業	33	13.3
6. 製造業	112	45.2
7. 電気・ガス・熱供給, 水道業	2	0.8
8. 運輸・通信業	11	4.4
9. 卸売・小売業, 飲食店	36	14.5
10. 金融・保険業	28	11.3
11. 不動産業	1	0.4
12. サービス業	15	6.0
13. その他	9	3.6

問14-4 貴社が設立されたのはいつでしょうか。次から1つ選び、番号に○印をお付け下さい。

N = 248

	度数	割合(%)
1. 1954年(昭和29年)以前	183	73.8
2. 1955年(昭和30年)～1964年(昭和39年)	38	15.3
3. 1965年(昭和40年)～1974年(昭和49年)	15	6.0
4. 1975年(昭和50年)～1984年(昭和59年)	7	2.8
5. 1985年(昭和60年)～1994年(平成6年)	2	0.8
6. 1995年(平成7年)以降	3	1.2

問14-5 貴事業場では労働組合は組織されているでしょうか。次から1つ選び、番号に○印をお付け下さい。

N = 247

	度数	割合(%)
1. 組織されている。	174	70.4
2. 組織されていない。	73	29.6

## 5 おわりに

本稿では、「企画業務型裁量労働制に関するアンケート調査」の単純集計結果を掲載した。結果についての詳細な分析は、稿を改めて行う予定にしている。

— 2000.7.3 受稿 —